

北海道森林管理局がイベントに出展しました！

MIKASA AMUSEMENT PARK OUTDOOR WORLD 2024



9月7日(土曜日)～8日(日曜日)の2日間、三笠市を会場に【MIKASA AMUSEMENT PARK OUTDOOR WORLD2024】が開催され、北海道森林管理局も出展しました。

今年で3回目の開催となるこのイベントは、アウトドアと防災をメインテーマに掲げており、北海道森林管理局では、パネル展示や実験企画を通じて、森林の役割や木の魅力、林業、山岳遭難防止などをPRしましたので、主な内容をご紹介します。

【①暮らしを守る“防風林”実験】

防風林に見立てた模型と人形、うちわで起こした風を使って、防風林の役割を学ぶ実験を行いました。

人形は、木がないと風で簡単に飛ばされてしまいますが、木があるとなかなか飛ばされません。

実験を通じて、私たちの暮らしを守る防風林の役割を学んでいただきました。



【②地元材に触れるウッドボウリングゲーム】

三笠で育った木(シナノキ・シラカバ・イタヤカエデ)を使ったボウリングゲームを作りました。

木の種類ごとに違う肌触りや重さを体感しながらゲームを楽しんでいただきました。



【③木の不思議“種飛ばし”体験】

専用キットを使って、木(ラワン)の種模型を作りました。

この木の種には2枚の羽がついており、空に投げ放つとクルクルと回転しながら舞い落ちます。

模型づくりを通じて、木の不思議さや面白さを体験していただきました。



【今後に向けて】

今回のイベント出展は、北海道森林管理局が一般の皆様と触れ合う貴重な機会となりました。

森林の役割やすばらしさ、林業の魅力を多くの皆様に知っていただけるよう、これからもこのようなPR活動を続けていきたいと思っております。